



↑亡くなくてもその人自身は変わらないと伝える名波さん。

家族の言葉から気づかされたケア

■市女性団体連絡協議会／男と女のフォーラム

「第1回男と女のフォーラム」の講演会は9月11日、相良史料館で開催され、232人が参加しました。榛原総合病院看護支援室長の名波まり子さんを講師に招き、「絆を結ぶエンゼルメイク」と題して講演。名波さんはエンゼルメイク（死化粧）を通して、亡くなった人だけでなく、その家族もケアができるように心掛けていくと述べました。来場者からは「自宅で最期を迎えてもメイクしてくれるのか」などといったエンゼルメイクに興味を示す質問がされました。

読み聞かせで本を身近なものに

■相良中学校／読み聞かせの朝読書

相良中学校の読み聞かせボランティアによる朝読書は9月7日に1・2年生、10日に3年生と特別支援学級を対象に実施されました。この読み聞かせは、同校ブックサポーターの読み聞かせグループが、本はおもしろくて身近なものという感じてもらいたいといった目的で、毎月行っているもの。グループ員は「読み聞かせる本を選ぶのが難しい」と語ってくれました。読み聞かせが始まると、生徒はまるで本の中に入っているかのような真剣な表情で聞き入っていました。



↑同校ではボランティアの読み聞かせが7年続いています。

ビタちゃんと一緒にみんなで体操

■ビタミン発見100周年記念／地頭方保育園

ことは、地頭方出身の鈴木梅太郎博士がビタミンを発見してから100年です。それを記念し、地頭方保育園は9月25日、同園運動会でビタミン発見100周年を祝いました。運動会では保育士がビタミンレンジャーに、保護者の代表が豚肉やミカンなどといったビタミンを含む食材のビタちゃんに扮し、園児と元気に体操を行いました。このほか、保護者らにビタミンについて紹介し、地域の偉人の功績をたたえました。



↑保護者がビタミン入りの食物に扮する「ビタちゃん」。



↑街頭広報で交通安全を呼びかける相良高校の生徒。

ルールを守り交通安全を誓う

■秋の全国交通安全運動

秋の全国交通安全運動がスタートした9月21日、市役所相良庁舎で出発式が行われました。出席したのは相良小、相良中、相良高の児童生徒をはじめとする関係者約100人。出発式では、3校の児童生徒の代表がそれぞれ「ルールを守り、交通事故ゼロを目指したい」などと交通安全を宣言しました。その後、街頭広報に立った高校生は、のぼり旗や交通安全のプラカードを掲げるなどして、ドライバーに安全運転を呼び掛けていました。



↑発災時に、園児と児童の引き渡しがスムーズになるようにみんなで訓練。

園児と児童が合同で防災訓練

■防災訓練／坂部小学校、坂部保育園

坂部小学校と坂部保育園は9月1日、防災訓練を実施しました。この防災訓練は、東海地震注意情報が発令されたときに、冷静な行動と情報の伝達ができるようになることを目的としています。注意情報発令後の児童は、防災ずきんをかぶり、黙って落ち着いた行動ができていました。避難後、齋藤校長先生は「この訓練は皆さんの命を守るもの。家に着くまでが訓練です」と災害時への意識向上のために児童へ話しました。また、同校は坂部保育園と隣接し、それぞれに通っている兄弟がいることから、連携して保護者への引き渡し訓練も実施しました。

集団生活の中で思いやりを育てる

■川崎小学校／通学合宿

家庭を離れ、集団生活の中で自分の立場や役割を自覚し、より良い人間関係を築くことをねらいとした川崎小学校通学合宿は9月2日から3日間、榛ノ木会館で実施されました。参加児童は3年生から6年生までの36人。合宿中の行事では、上級生が下級生に力を貸す、みんなで話し合っ決めてするなど、随所にお互いを思いやる姿が目立ちました。児童は「協力することが大切」「これからも下級生の面倒をみる」などと話してくれました。



↑闇夜に綱を頼りに進む。人生にたとえ綱は頼れる親や先生。



↑自分たちで決めて、小川で魚取りをして遊ぶ子どもたち。

子どもには自由に遊べる場が必要

■冒険遊び場全国一斉開催の日

「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーとし、地域住民で運営されている冒険遊び場は8月29日、ゆうゆうらんどで開催されました。これは、「うるさいから、危ないから」と子どもたちの遊ぶ環境が消えていくことを社会に伝え、外遊びに対する閉塞感を打破するため、NPO法人日本冒険遊び場づくり協会が主催したもの。参加した子どもたちは、大工道具を片手に小物作りをしたり、ハンモックをつるしその上で揺られてみたりと、自由に遊んでいました。



広報担当がどこにでも取材に行きます。あなたの身近なホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報室 ☎ (23) 0044 ✉ seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp